

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
4.0'	重要トラブル	以下の条件を満たす場合、瞬快クライアントをインストールしてから30日経過後、ドメインへログオン出来なくなる。 ・瞬快Rel.4.0クライアントがインストールされている。 ・ドメイン環境でドメインログオンの運用である。	プログラムの修正を行いました。	ALL Rel.4.0のみ	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
4.0a	新サービスパック対応	Windows Server 2003 SP1 に対応しました。	新しいサービスパック対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	ウィルス対策ソフト連携	マカフィー社 Managed VirusScanと瞬快の共存に対応しました。	新しいウィルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	ウィルス対策ソフト連携	トレンドマイクロ社 ウィルスバスター コーポレートエディション 7.0と瞬快の共存に対応しました。	新しいウィルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	ウィルス対策ソフト連携	日本エフ・セキュア社 F-Secureアンチウィルス クライアントセキュリティと瞬快の共存に対応しました。	新しいウィルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	運用時	Windowsファイアウォール機能が有効な状態で、突然瞬快のリモート管理機能から操作が行えなくなる。	ドメインプロファイルと、ローカルプロファイルの両方に対して、瞬快のプログラムを例外リストに登録するようにしました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	瞬快のアイコンが赤くなり、瞬間復元機能が動作しない機種がある	瞬快がロードされるタイミングによりOSの他機能との競合が発生する場合に、競合を回避するよう対応しました。	ALL Rel.4.0'以前		NEC MATE MY28V/R-Fのみ発生しておりました。
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	ログオン・ログオフ処理が正常に行えなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	修復対象領域の設定にて、全角空白文字を含む、文字列を指定しないようにしてください。(フォルダ名の変更/ファイル名の変更など。)	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	修復無効モードに変更した後、システムのイベントに次のイベントが出力される。 ソース名: Service Control Manager イベントID: 7026 「次のブート開始ドライバまたはシステム開始ドライバを読み込むことができませんでした。SKFSD」	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位/ パーティション単位)	更新モードでの動作中、異常にディスク使用量を利用してしまう場合がある。	瞬快をインストールした環境においては、ブートオプション機能の競合を停止するように処理を見直しました。	ALL Rel.4.0'以前	以下のレジストリキー値を設定してください。 [HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\WdFrgYBoot\OptimizeFunction] "Enable"="N" (無効)	
	Windows Update連携機能	管理機能に複数のNICが接続されている状態で、Windows Update連携が正常に動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	マイネットワークのプロパティより、メニューの「詳細設定」>「詳細設定」を選択し、Windows Update連携を実行するNICの優先順位を高くしてください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式に SKGINAを選択した場合)	リモートログオン後、Ctrl+Alt+Delキーを押した画面でログオン情報のユーザ名や日付などが表示されない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	リモートログオン方式をSLFLOGON方式にて運用ください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式に SKGINAを選択した場合)	ログオンスクリプトを設定しているユーザにて、リモートログオンを実施しても、ログオンスクリプトが動作しない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	リモートログオン方式をSLFLOGON方式にて運用ください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式に SKGINAを選択した場合)	パスワード付きのスクリーンセーバーが有効になっているユーザにてリモートログオンを行った場合、スクリーンセーバーが有効にならない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	リモートログオン方式をSLFLOGON方式にて運用ください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式に SLFLOGONを選択した場合)	簡易ユーザ切り換えを使用している環境で、リモートログオンが実行ができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前かつ、 WindowsXPのみ	リモートログオン方式をSKGINA方式にて運用ください。	
	リモートログオン	ログオン、またはログオフ中にリモートログオン機能からログオン、ログオフを実行すると、アプリケーションエラーが発生する場合があります。	リモートログオン機能より、ログオン、またはログオフ処理実行直後に再度ログオン、またはログオフ処理が行われた場合、クライアント側で、処理を行わないように修正しました。	ALL Rel.4.0'以前	ログオフ、またはログオン処理を実行後、しばらく時間を空けてから再度ログオフ、またはログオン処理を実行してください。	
	システムリカバリ機能	クライアントPCの設定で、コンピュータ名、IPアドレスの変更は可能ですが、DNSサーバのアドレス(優先、代替DNSサーバ)変更まで行いたい。	DNSサーバのアドレス(優先、代替DNSサーバのアドレス)まで設定可能であるように、機能強化しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0'以前	なし	
	システムリカバリ機能	サービスの予約機能において、一回のみしか実行できないため、スケジューリングを行っての運用が出来ない。	予約機能において、実行後も予約状態を保つように機能強化しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0'以前	なし	
	システムリカバリ機能	同一セグメント上に複数のシステムリカバリサーバを構築したい。	同一セグメント上に複数のシステムリカバリサーバを構築しても動作可能であるように、機能強化しました。	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 上+資源OP <input type="checkbox"/> 特上 Rel.4.0'以前	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムカバリ機能	クライアント登録機能を実行すると、既に登録済みクライアントPCであっても、登録処理が実行される。	既に登録済みクライアントPCについては、クライアント登録機能が実行されても、ローカルブートするように修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0'以前	なし	
	レベルアップ (管理機能のみ)	レベルアップを実施した後、個別に変更した環境設定ファイルの内容が初期化されてしまう。	レベルアップ前に、環境設定ファイルの内容を記憶し、レベルアップ後に設定するように処理を見直しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	レベルアップ (サーバ機能のみ)	レベルアップを実施した後、アプリケーションの追加と削除からアンインストールを行うと、「新しいバージョンの製品が既にインストールされています。」というメッセージが表示され、アンインストール出来なくなる。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0からRel.4.0' へレベルアップしたときのみ	製品CD-ROMのサーバインストールを実行して頂き、メンテナンスメニューより削除を選択して、アンインストールを実施してください。	
	バージョンアップ (サーバ機能のみ)	初期設定のインストールフォルダとは違ったフォルダを指定してインストールを行った場合、バージョンアップが出来なくなる。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.3.5以前から Rel.4.0 or Rel.4.0' へバージョンアップしたときのみ	Rel.3.5以前のサーバ機能をアンインストールして頂き、Rel.4.0サーバ機能を新規インストールしてください。	
	その他	Windows標準のDHCP設定において、MACアドレス予約を行う場合、手間がかかるが、簡単にMACアドレスの予約を行いたい。	瞬快の管理機能に登録されているクライアント情報を元に、NETSHコマンドにてインポート可能である形式にて出力されるように改善しました。	ALL Rel.4.0'以前		お手数をお掛け致しますが、手動にて登録をお願い致します。
	その他	スタンドアロンでの運用を想定しているが、クライアント機能インストール時に瞬快サーバ名の入力が必要となっている。そのためクライアント機能のインストール作業が行えない。	サーバ名指定画面において、スタンドアロン運用も選択可能に変更しました。	ALL Rel.4.0'以前		サーバ名の指定で、存在しないサーバ名を指定してください。
	その他	瞬快クライアント機能の状態を取得するコマンドのローカル版(SKSTAT.EXE)を追加して欲しい。	リモートからの状態取得コマンドしかありませんでしたが、ローカル版の状態取得コマンドを追加しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	その他	Windows XP HomeEditionに対して瞬快サーバ機能のインストール可能としました。	プログラムを改修しました。	□並 Rel.4.0'以前	なし	
	その他	ログオンパネルの表示設定で、Ctrl+Alt+Delを押した後、Escキーを押し、再度Ctrl+Alt+Delキーを押すと、ログオン先がドメインからローカルに変わってしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	その他	以下の機能が動作中スタンバイモードへ切り替わらないように変更しました。 ・WindowsUpdate連携中 ・資源適用中 ・アプリケーション登録中 ・ファイル登録中	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	その他	Sleep.exeを実行してもスリープが実行されない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前		Sleep.exeと同一フォルダに、CD-ROM内のTOOLフォルダに格納されているMFC711.dllとMSVCR71.dllをコピーしてください。